

ふっさ



市議会だより

No.211 平成30年7月25日
発行/福生市議会

〒197-8501 福生市本町5番地
☎042(551)1511(代表)
☎042(551)1523(直通)



▲25周年を迎えた大凧揚げ大会の様子（5月5日多摩川中央公園にて撮影）

平成30年
第2回定例会
6月5日～22日

福祉センターの大規模な 設備改良工事を契約同意

平成30年第2回定例会

平成30年第2回定例会は、6月5日から22日まで会期18日間で開催され、17名の議員による一般質問が行われました。

今定例会では、専決処分報告3件、条例の一部改正、一般会計補正予算など市長提出議案9件が審議されました。

また、新たに提出された陳情1件については継続審査となりました。

議員表彰

全国市議会議長会では、議員として多年にわたり地方自治に功績のあった方を表彰しています。平成30年度においては、5名の議員が表彰されました。

議員15年以上

- 奥富 喜一 議員
- 申田 金八 議員
- 田村 昌巳 議員
- 大野 聡 議員

議員10年以上

- 武藤 政義 議員



福生市公式キャラクター たっけー☆☆

22日	19日	15日	14日	13日	12日	8日	7日	6日	5日	▼6月	会期18日間					
議会運営委員会	全員協議会	第2回定例会5日目	まちの魅力づくり対策特別委員会	策特別委員会	議会運営委員会	建設環境委員会	市民厚生委員会	総務文教委員会	横田基地対策特別委員会	全員協議会	第2回定例会4日目	第2回定例会3日目	議会運営委員会	第2回定例会2日目	第2回定例会1日目	議会運営委員会

◆ 会議の開催状況と審議日程 ◆	
● 主な内容 ●	
◆ 一般質問（要旨）	…… 2～5面
◆ 可決された案件・議案の審議結果	…… 6面
◆ 委員会の審査	…… 7面
◆ 行政視察報告・特別委員会活動	…… 8面

一般質問（要旨） 「市政のここを問う」

今定例会では、17名の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。要旨は1～2問とし掲載しました。会議録は8月下旬頃に市役所情報コーナー及び図書館に配置します。また、福生市ホームページにも掲載しますので、ぜひご覧ください。

なお、これまで掲載されていた一般質問通告一覧については、福生市ホームページに掲載しています。



福生市議会HP
(通告一覧へリンクします)

CV-22オスプレイ配備について

正和会
清水 義朋 議員



質問 4月3日に防衛省がCV-22オスプレイの今夏の横田基地への配備を発表、その2日後に最初の5機が飛来した。正式配備を前に、本市での状況把握と対応について伺う。

市長 公表では、今夏頃に5機を配備、その後数年間で段階的に計10機、450人の人員を配備するというもので、これを受け都と5市1町では直ちに北関東防衛局に対し迅速で

正確な情報提供を要請した。また、防衛省、北関東防衛局を訪問し、さらに6月には防衛大臣政務官と面会し、地元自治体の厳しい状況を訴え、情報提供を強く求めた。今後も市民の安全安心のため粘り強く取り組む。

ふっさっ子未来提言の総括について

質問 平成25年度末に六つの提言が公表されて以降、福生の教育と子

どもたちの姿の変化を実感している。改めて、その総括を伺う。

教育長 大きな成果には①校長・教職員の人材確保、②児童・生徒の情緒の安定、③施策の発信と認知の向上、④教育環境整備と行政職員の力量向上、⑤市独自の研究組織としての発展、⑥課題認識と施策展開の整合など。今後も教育課題の改善に向け、施策展開を着実に進めたい。



▲CV-22の横田飛行場配備に関する環境レビュー(仮訳)

障害を持つ児童と特別の配慮が必要な児童への対応について

正和会
町田 成司 議員



質問 保育園における障害児の受け入れ状況は。また、医療的ケア児の支援内容についても伺う。

市長 障害の状況や職員の配置等を考慮し、市と保育園で調整を行って受け入れている。今年4月現在16園中14園に30名、身体の障害や知能発達に遅れのある児童が在籍している。医療ケア児は平成29年度より国のモデル事業をもとに保育支援委託

事業を開始。現在の対象児童は1名。保育園の看護師が研修等で不在時に市委託の訪問看護ステーションから派遣する。この事業により、園での集団生活が継続できている。

市内事業者の入札に対する現状と今後について

質問 業務委託や物品購入における市内事業者の割合は。また、80万円未満の物品購入は市内事業者が優

先されるが、その状況も伺う。

総務部長 平成29年度の入札結果は全108件、約4億3,338万円。うち市内事業者が55件で約2億2,114万円、50.9%で前年度比8.1ポイントの減。物品契約では全30件、約8,959万円中13件、約2,347万円で43.3%、8.6ポイント減。80万円未満の物品購入は主に事務用品などの消耗品や小・中学校の補助教材など。



「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)」について

正和会
乙津 豊彦 議員



質問 2045年の時点で、都内市部では本市が最も人口減少率が高く、一方で75歳人口の割合が最も高くなると推計された。このことをどう捉えているか。

市長 ご心配の声もいただいているが、これはあくまでも推計で、確実なものではない。発表元の国立社会保障・人口問題研究所にも確認したが、本市の場合、転入転出による

移動人口にばらつきがあり、必ずしもこのとおりに推移するとは限らないとの回答も得た。このような人口値とならないため、定住化施策を行い人口の減少幅を抑えようとしている。今は現行の総合戦略に基づき、着実かつ継続的に進めていく。

「福生市人口ビジョン及び総合戦略」への影響について

質問 推計では2045年の推計人口

は3万5,227人。一方、本市の人口ビジョンでは同時点で4万2,200人。16%もの差があるが、ビジョンや総合戦略への影響はないのか。

市長 公表結果は一つの推計で、影響はないと考える。人口ビジョン及び総合戦略は平成31年度で計画期間が終了するが、更新時には、現行の定住化施策の検証を踏まえ、より効果的なものとしたい。



▲子育て世代も住みよいまちに(子育て世代包括支援センター)

福生駅西口地区の再開発に向けた検討状況と今後の取り組みについて

正和会
大野 聡 議員



質問 再開発事業地域の状況と、検討段階で見た課題や今後の方向性について伺う。

市長 対象は福生駅西口の約1.4ヘクタール。昨年11月に福生駅西口地区市街地再開発準備組合が設立され、地権者35名中33名が加入。都市計画上の用途区域は商業地域と近隣商業地域で、容積率は駅前通り沿いの一部が500%、その他は400%か

300%。現在、準備組合では都市計画の素案作成を進めているが、都や警視庁、JRなどとの協議が求められており、行政の協力が不可欠。本市としても重要なプロジェクトであることから、今年度より都市建設部内に新たに部・課長職を配置し、準備組合を支援している。

準備組合からの要望書に対する対応について

質問 要望書に対する市の考え方

は。また、公共施設の導入を検討するに当たり、その検討内容や課題は。

市長 再開発は市にとっても重要であるので、全庁的に検討する。準備組合から要望のあった福生駅西口への公共施設や機能の整備については、既存施設の老朽化や利用状況をはじめ、市民アンケートの結果や整備費用等、さまざまな要素を考慮し、多角的に検討していきたい。



▲再開発が予定されている福生駅西口

避難所運営連絡会について

生活者ネットワーク
三原 智子 議員



質問 福生市地域防災計画では、避難所の開設・管理運営には避難所運営連絡会を設置し、災害時の対応を協議するとしているが、これまでの取り組みについて伺う。

市長 災害時、避難所の円滑な運営には地域・学校・市の三者の相互協力が必要なことから、平成25年度策定の運営マニュアル作成モデルに連絡会の設置を明記、翌年度から順

次開設された。三者の役割分担と認識の共有はできたが、会ごとの意識差もあることから29年度に全体会を開催、全体的な底上げを図った。多くの方が地域の防災リーダーとなるよう、研修などの充実にも努めたい。

質問 先進的な検討や取り組みの事例を伺う。また、運営に女性の参加を呼びかけているというが、実際の参加状況はどうなっているか。

総務部長 先進的な事例として、外国人に配慮し、避難生活での注意点や案内掲示をやさしい日本語と外国語を併記した張り紙を用意した例、また、女性の洗濯物の干し場など生活に必要な場所を細かく定め、災害時に混乱をなるべく回避した工夫などがある。女性の参加状況は、全避難所の連絡会メンバー85名中女性が15名で、参加率は2割弱。



▲避難所運営マニュアル

福生ワールドカフェについて

市民派クラブ
田村 正秋 議員



質問 5月に本市で初めて開催され、大変楽しく有意義なものであった。改めて、その内容について伺う。

市長 第5期福生市総合計画策定のための基礎資料として、市民のご意見をお聞きするもの。リラックスした雰囲気の中で、五人の小グループでメンバーを変えながら話すことで多くの意見を集める手法で、「福生に住んでいてよかったと思うこと」

など三つのテーマで語り合っていた。これからの福生市のまちづくりを考えたアイデアやご意見を多数頂戴し、参加者からも総じて有意義だったとの感想をいただいた。

ブラインドサッカーについて

質問 パラリンピック種目である本競技を通じ市内の機運醸成を図っていくものと思われるが、今年度の

具体的な取り組みは。

教育長 ブラインドサッカーは平成22年から継続的に開催し、障害者スポーツの理解促進、普及と地域交流に努めている。今年度は特に2020年に向けた機運醸成への取り組みが必要と考え、11月に福生野球場で東日本リーグを開催。試合観戦や体験教室など、多くの方に楽しめる企画を計画している。



▲福生ワールドカフェの様子

フレイル予防の取り組みについて

公明党
青木 健 議員



質問 加齢による心身の諸機能が低下した状態「フレイル」の予防は健康寿命の延伸や医療費抑制において大変重要だ。今年度からの第7期介護保険事業計画及び健康ふっさ21におけるフレイル予防の位置づけや取り組みについて伺う。

市長 介護におけるフレイル予防の取り組みとしては、閉じこもりを防ぐ生きがい活動支援サービス、

食事の提供と安否確認を行う配食サービス、老人クラブへの事業費補助などがある。介護認定者以外を対象とした事業には、運動器機能向上のための高齢者元気はつらつ教室や運動指導員の派遣、介護予防リーダー養成講座の実施などがある。健康ふっさ21における位置づけとしては、ラジオ体操の普及と食の講話や健口体操、脳トレゲームなどの出前講座、

原ヶ谷戸どんぐり公園に新設された健康遊具の活用等が予防につながると考える。また、新しい視点として、在宅高齢者を支えるため、医療と介護関係者が協働で情報を共有するシステムづくりを支援する。フレイルは適切な予防や治療で健常状態に戻れると考えられていることから、自立した日常生活を営むための効果的・効率的な介入や支援に努めたい。



▲フレイル予防として取り組まれている介護予防事業の様子

中央体育館のバリアフリーについて

正和会
幡垣 正生 議員



質問 開館から四十数年間経過し、この間耐震補強や段差の解消、トイレの洋式化などは行われたが、エレベーターの設置については一向に進まない。進まない理由は何か。

教育長 エレベーターの設置には建築確認申請が必要だが、その際には都の指導で現行法規に適應するための全館的な改修が求められ、同様に福祉のまちづくり条例にも適應し

たさまざまな施設整備が必要となる。福生市公共施設等総合管理計画や福生市立地適正化計画にもかかわる問題となるため、全庁的な計画や方針に沿って進める必要がある。

学童クラブの安全対策について

質問 年々入所児童が増えている状況だが、事故やけがの安全対策はどのように図っているのかを伺う。

市長 平成27年からの子ども・子育て支援新制度で、放課後児童クラブ運営指針にて具体的な安全対策が示された。本市の学童クラブはこの指針を遵守した点検・確認を行い、事故防止のマニュアルを作成し支援員、補助員の共通認識としている。また、福生市シルバー人材センターへ委託し児童の見守り人員を配置、安全性の向上に努めている。



▲学童クラブの様子

ご利用くださいインターネット議会中継

議員の一般質問や市長の答弁の様子が見られ、より身近に議会を感じていただけます。ぜひご利用ください。

◆配信方法 本会議のライブ映像と録画映像より身近に議会を感じていただけます。ぜひご利用ください。

◆利用方法
福生市ホームページ (<http://www.city.fussa.tokyo.jp/>)
→「福生市議会」よりアクセス

ケーブルテレビによる議会中継

多摩ケーブルネットワークによる本会議の生中継を放映します。放映チャンネルは、広報ふっさ及び多摩ケーブルチャンネルガイドでお知らせしますので、ぜひご覧ください。

「声の市議会だより」をお届けしています

音訳ボランティア「ふっさいとでんわ」により、市議会だよりの音訳をデイジー方式のCDにして、視覚障害者(1・2級)の方にお届けしています。

ご家族やお知り合いで、ご希望の方がいらっしゃいましたら、ご連絡ください。

議会事務局 ☎042-551-1523

専用の再生機が必要となりますが、利用対象者は日常生活用具として給付を受けられます。(利用者一割負担)

学区の再編について

正和会
末次 和夫 議員



▲市内小学校（福生第三小学校）

質問 昨年の第2回定例会では、市立学校規模等適正化基本計画の策定は、当面総合的な見地から調整を進める必要があるとの答弁だった。1年が経過し、その進捗状況は。

教育長 人口推計では今後5年間の本市の児童・生徒数の推移は小学校が横ばいで中学校が微増と見ている。すぐに再編が迫られる事態ではないが、社会変化や学校施設の老朽

化に加え、今後福生市総合計画や公共施設等管理計画に基づく個別施設計画等が策定されることから、市全体として総合的に判断するため、全庁的に取り組むべきと考えている。

小中一貫校について

質問 小中一貫教育は実施されたが見られない。一貫教育の現状や成果

と、一貫校への所見を伺う。

教育長 一貫教育の成果として、小・中学校教員の直接交流の機会を多く設定することで相互理解及び、意識改革が図られている。一貫校については、いわゆる中1ギャップの緩和等のメリットがある一方、人間関係の固定化等のデメリットもある。これらを総合的に評価し、慎重に本市の方向性を定める必要がある。

障害者施策について

正和会
佐藤 弘治 議員



▲福生市地域自立支援協議会の会議の様子

質問 3月に福生市障害者計画・第5期障害福祉計画・第1期障害児福祉計画が策定された。推進に当たり、関係機関との連携の図り方は。

市長 進捗状況を福生市地域福祉推進委員会や福生市地域自立支援協議会に報告し、ご意見をいただき課題やニーズの把握に努める。

質問 福生市地域自立支援協議会はどのような方々で構成されている

のか。設置の目的や意義は。

福祉保健部長 構成メンバーは学識経験者、地域福祉団体、障害福祉事業者、保健・医療関係者の計10名。設置は障害者総合支援法で規定されており、相談支援の事例等を通じ地域の課題を共有し、支援体制の整備につなげる取り組みを進めている。

質問 福生市障害者福祉サービス指定事業所連絡会はどのような組織

か。また、地域自立支援協議会との関係は。

福祉保健部長 市内の指定事業所により構成され、地域自立支援協議会や福生市障害福祉課と連携・協働し障害福祉の向上に努めている。計画相談部会など6部会に分かれ、研修や事例検討会等を定期的に開催。年1回、地域自立支援協議会に各部会長が出席し情報共有を図っている。

平成30年度の総合防災訓練について

正和会
串田 金八 議員



▲訓練が予定されている防災食育センター

質問 今年度も開催されるとのことだが、その内容は。

市長 今年は10月21日、福生第一小学校をメインに、市内全小・中学校に加え、新たに昨年から本格稼働している防災食育センターも訓練会場に予定している。内容については関係機関と調整中である。

災害時に対するインフラ設備の現状について

質問 水道管やガス管の耐震化に取り組んでいるとのことだが、工事の進捗状況は。また、災害時の停電中でも使用可能な信号機の設置状況についても伺う。

市長 武陽ガスに確認したところ、都市ガスの耐震化は平成28年4月に完了しているとのこと。

総務部長 東京都水道局によると、市内の水道の耐震化率は平成28年度

末現在で40%。耐震化事業計画は東日本大震災後に見直しを図り、平成34年度末に都内全域で54%を目標に事業を進めているという。災害後の停電時でも使用可能な信号機は、福生警察署によると方式は幾つかあるが、合計で市内15箇所に設置。うち8箇所が震災以降に設置されたリチウム電池式で、今後もこのタイプのを増やしていくとのこと。

住宅施策分野の取り組みと土地利用状況調査について

公明党
堀 雄一郎 議員



▲社会科の副読本「わたしたちの福生市」

質問 東京都の調査から見てきた本市の土地利用の動向とは。また、どう住宅施策に反映させるのか。

市長 本市は市街化区域内の道路等の割合が28市町で最も高い。また、宅地面積に対する建物棟数密度や建蔽率が高いが、容積率は平均的で、指定された容積率が十分使われていない。以前の本市研究では、未利用地の割合は低い福生駅周辺部の未

利用空間が大きいと指摘されている。立地適正化計画での各種施設の駅周辺への集約により、都市計画マスタープランで掲げる「誰もが住み続けたくなる歩いて暮らせるまち」の実現に向け各施策を進めたい。

全ての児童・生徒を対象とした補助について

質問 本市には全ての児童・生徒が対象の補助が多いが、近年削減す

る自治体も多いようだ。所見を伺う。

教育長 補助教材費や修学旅行等の宿泊費補助に小学校で最大1万5,540円、中学校は2万8,565円に加え、社会や道徳の副読本等を市立小・中学校の全児童・生徒の保護者に補助しており、26市の中でも総じて高い額と考える。社会情勢にも大きく影響する施策だが、今後も子育て世代をあまねく広く支援したい。

空き家対策について

公明党
五十嵐 みさ 議員



▲「福生市住宅マスタープラン」(冊子)

質問 本市における空き家対策について所見を伺う。

市長 平成24年度の実態調査を機に対策に取り組んでいるが、近年の空家等対策の推進に関する特別措置法の制定や、人口ビジョン及び総合戦略の策定などの環境変化もあることから、今年度改定の住宅マスタープランで実態を調査する。

質問 1棟丸ごと空き家になって

いる集合住宅への対応は。

都市建設部長 特措法に基づき所有者へ適正管理の指導を行い、相談窓口の紹介や除却の助成などの情報提供を行っている。1棟丸ごとの空き家集合住宅はまだ多くはないが、環境・防災や住宅ストック活用、不動産流動化の面で新たな対応が必要だ。住宅マスタープラン改定の中で考えたい。

障がい者インクルーシブ防災の具体的な推進について

質問 災害時には障害者、サポートする側双方に知識や配慮すべき点を要する。その周知啓発が重要では。

市長 要援護者登録制度で災害に備えているが、障害者みずから、また周囲も平時の備えが大切だ。対応の研修やハンドブック作成については障害特性で準備や支援も異なるので、先進事例の収集に努めたい。

多摩橋通りの工事の進捗状況について

質問 長きにわたり工事が続いているが、現在の工事内容と今後の予定は。また、いつごろ完了するのか。

市長 東京都西多摩建設事務所によると、現在はJR東日本に委託した鉄道交差部の立体工事が行われている。2020年度末まで実施し、その後は前後区間の擁壁工事に四、五年かかるため、完成は2024年度末から2025年度になる見込みである。踏切

での一時停止などによる渋滞の緩和や、歩道設置による歩行者の安全性向上のため、一日も早い完成を都に要望している。

東京2020オリンピック・パラリンピックに伴う設備整備に係る補助金の活用について

質問 東京都には、大会の機運醸成とスポーツ振興などの地域活性化が目的の支援補助があるが、本市はその活用をどう考えているのか。

教育長 庁内で検討中だが、利用団体からの要望もあり、市営競技場の人工芝化を考えている。

質問 人工芝化のほかに改修の計画はあるか。また、近隣で人工芝化された競技場はあるのか。

教育部長 競技場の管理棟の改修整備も検討している。人工芝化は民間での例はあるが、西多摩8市町村の公営競技場では初となる。

正和会
武藤 政義 議員



▲人工芝化が検討されている市営競技場

公共施設総保有量（総延べ床面積）の20%削減目標について

質問 公共施設等総合管理計画の中で市民1人当たりの床面積を26市平均の水準まで下げるといふ考え方は妥当か。市民生活への影響は考えたか。教育施設の充実という福生市の特長は維持できるのか。

市長 本市は3分の1が横田基地で、他自治体よりコンパクトで利便性もよい。身の丈に合った施設保有量への見直しが必要で、総量抑制を

原則に少なくとも26市平均まで引き下げるべきと考える。あくまで将来にわたり必要な行政サービスを提供するため、市民生活への影響を最小限に抑える視点で策定した。教育施設を含むすべての施設の規模、配置等を人口動向や財政、他の計画との整合性等を踏まえ多角的に検討し、次世代に負担をかけず、将来にわたり持続可能なまちの実現を目指す。

福生市における超過勤務時間等の状況について

質問 本市学校教職員の過労死ラインを超える超過勤務時間等の状況について伺う。

教育部参事 平成29年度、一度でも100時間超えをした教員は小学校で8.6%、中学校で35.4%。80時間超えは小学校で23.5%、中学校が56.1%。病気休職者は2名、病気が理由の普通退職者が2名。

日本共産党
池田 公三 議員



▲「福生市公共施設等総合管理計画」(冊子)

包括施設管理委託について

質問 公共施設は数も多く、管理業務も幅広いが、包括委託によって実施水準の向上と業務効率化が図れると考えるが、本市の考えを伺う。

市長 業務契約の一本化で経費削減と業務量削減などの効果がある一方で、地域業者の発注減への懸念や、元請事業者が下請に再委託することでの事業費削減効果の低減や管理上のリスク、長期契約時の市場の硬直

化など、課題もある。まずは先行自治体の取り組みを情報収集したい。

財務諸表の活用とマネジメントについて

質問 昨年の平成28年度決算審査では各課の組織別財務諸表が示され、各事業は行政コスト計算書でフルコストが示された。29年度の決算ではこれらをどう活用するのかを伺う。

市長 28年度より地方公会計制度

を東京都方式で採用。予算体系を組みかえ予算説明書と決算説明書を作成、資産状況や各事業の一層の見える化が図られた。29年度は28年度との比較ができるので、見えてきた情報を実施計画作成や予算編成に活用したい。今後は年々情報が積み上がり、事業や分野別の傾向がより顕著になる。分析・評価の重要な要素としてマネジメント強化につなげたい。

公明党
原田 剛 議員



▲庁舎内（防火扉）の保守点検の様子

福生加美上水公園自然塾の活動について

質問 このボランティア組織の概要は。あわせて、青大悲寺との無償使用貸借の契約状況と、施設の今後の構想についても伺う。

市長 福生加美上水公園自然塾は、自然生態系に配慮した公園整備等の専門的知識を有し、清掃や樹木の手入れなどの美化活動から生態系調査や貴重植物の保護まで、幅広く活躍いただいている。青大悲寺の旧東海

居は、土地と建物について寺と平成31年3月末までの無償使用貸借契約を締結した上で、市から塾に貸し出している。環境学習や公園ボランティア育成活動のほか、休憩場所など多岐に活用されており、この活動で緑の保全やボランティアに参加する市民の育成が期待できるため、今後の使用方法も検討していきたい。

運動信号機設置について

質問 昨年9月、地元の要請から産業道路の武蔵野台一丁目の交差点へ信号機設置の要望書を提出したが、その進捗状況を伺う。

市長 福生警察署に確認したところ、東京都公安委員会に上申され、設置される予定だが、都内で危険度の高いところから予算の範囲内で順次設置をしているとのこと。

日本共産党
奥富 喜一 議員



▲青大悲寺の旧東海居

第68回 福生七夕まつり ～福生の“和”が広がる七夕まつり～



8月2日(木)～5日(日)

今年も民踊
パレードに
参加します



昨年の七夕まつり民踊パレード参加風景



議案の審議結果 (○賛成 ×反対)

市民派：市民派クラブ ネット：生活者ネットワーク

議案番号	議案名	正和会	公明党	日本共産党	市民派	ネット	議決結果
市長提出議案							
報告第1号	専決処分の承認を求めることについて(福生市税賦課徴収条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	承認
報告第2号	専決処分の承認を求めることについて(福生市都市計画税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	承認
報告第3号	専決処分の承認を求めることについて(福生市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	承認
議案第31号	福生市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決
議案第32号	福生市都市計画税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決
議案第33号	福生市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	可決
議案第34号	福生市学童クラブの設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決
議案第35号	平成30年度福生市一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	可決
議案第36号	福祉センター設備改良工事(機械設備)請負契約	○	○	○	○	○	同意
議案第37号	福生市表彰条例に基づく自治功勞表彰について	○	○	○	○	○	同意
議案第38号	福生市表彰条例に基づく自治功勞表彰について	○	○	○	○	○	同意
議案第39号	福生市表彰条例に基づく一般表彰について	○	○	○	○	○	同意

可決された案件(要旨)
 ◎全員賛成 △賛成多数

◎専決処分の承認を求めることについて(福生市税賦課徴収条例の一部を改正する条例)
 地方税法の一部を改正する法律の公布に伴い条例改正の必要が生じ、専決処分の承認を求めるもの。改正内容は、法人市民税の申告納付について、内国法人が外国子会社合算課税の適用を受ける場合、外国関係会社に課した所得税等の額のうち、合算対象とされた所得に相当する額を内国法人の法人市民税の額から控除できるようにしたことによる規定の整備など。

◎専決処分の承認を求めることについて(福生市都市計画税条例の一部を改正する条例)
 地方税法の一部を改正する法律の公布に伴い条例改正の必要が生じ、専決処分の承認を求めるもの。改正内容は、土地に係る都市計画税が地価上昇により急激に上昇して税負担が重くなり過ぎないように、緩やかな増加にする負担調整措置の適用年度の改正など。

◎専決処分の承認を求めることについて(福生市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)
 地方税法施行令の一部を改正する政令の公布等に伴い条例改正の必要が生じ、専決処分の承認を求めるもの。改正内容は、国民健康保険税の基礎課税額の課税限度額変更など。

◎福生市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例
 地方税法の一部改正に伴い、市たばこ税に係る製造たばこの区分及び税率や個人の市民税に係る非課税の範囲、法人の市民税に係る申告納付、固定資産税に係る課税標準の特例等に関する規定等を整備するもの。

◎福生市都市計画税条例の一部を改正する条例
 地方税法の一部改正に伴い、改修実演芸術公演施設に対する都市計画税の減額に関する規定等を整備するもの。

◎福生市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、学童クラブ支援員の資格要件に関する規定を整備するもの。

◎福生市学童クラブの設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、学童クラブ支援員の資格要件に関する規定を整備するもの。

◎平成30年度福生市一般会計補正予算(第1号)
 歳入歳出それぞれに2億850万7千円を追加し、総額を24億2850万7千円とするもの。

◎福祉センター設備改良工事(機械設備)請負契約
 平成30年度から31年度にかけて福祉センター設備改良工事(機械設備)を特定建設工事共同企業体へ発注するもので、予定価格1億5千万円以上のため、福生市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により、議会の同意を得ようとするもの。契約金額3億9960万円、工期は31年12月20日まで。

◎福生市表彰条例に基づく自治功勞表彰について
 農業委員会委員として長年にわたり貢献された村野和男氏を自治功勞表彰するもの。



▲福生市表彰式で表彰された方々

討論
 ●福生市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
 代替保育、食事の提供等の規制緩和を拡大するものであり、保育の質の担保を引き下げることに

賛成
 なることから反対である。保育の質の向上のため、食事の提供という専門性の高い業務はアウトソーシングし、現場の課題解決につなげることができることから賛成である。

委員会の審査から

各常任委員会から報告された
主な審査概要をまとめました

建設環境委員会

6月12日に委員会が開催され、1件の議案を審査し、原案のとおり可決されました。

◇平成30年度福生市一般会計補正予算(第1号)
(建設環境委員会所管分)

問 青梅線エリア女子旅推進委員会の「ことりっぶ」とはどんな冊子なのか。

答 女性ユーザーが9割以上という、特徴のある有料の旅行ガイドブック。
問 「ことりっぶ」はどのような地域が商品化されているのか。

答 関東近郊では、横浜、秩父、東京都などがある。
問 TGRラリーチャレンジのラリーについて説明していただきたい。

答 ドライバーとナビゲーターがペアとなり、閉鎖された競技区間のタイムの合計を競うスポーツ。
問 TGRラリーチャレンジの次年度以降の見通しは。

答 ラリー競技開催の協力を、開会式及び表彰式会場等での同時イベントを主催し、地域の魅力をPRする。
問 市道幹線II-11号線の無電柱化で、減額の理

由は電線共同溝の工法の改定によってということだが、工法がどのように違うのか。
答 電線類の埋設をより浅くする、浅層埋設化や、電線共同溝のボックス、トランスを地上に置く地上機器の小型化などにより、コストの削減を図るための改定。



▲無電柱化整備が予定されている本町通り

市民厚生委員会

6月13日に委員会が開催され、3件の議案を審査し、原案のとおり可決されました。

◇福生市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

問 条例改正の影響を受ける市内施設はあるか、市内小規模保育所の連携施設確保の状況は。
答 改正の影響を受ける施設はない。ちやいれつく福生駅前保育園は、福生本町保育園、福生多摩幼稚園小規模保育園乳幼児部ひよこは、福生多摩幼稚園を連携施設として確保している。
問 4階以上の階の施設の特別避難階段について、付室部分の規定の整備と引用条文の内容は。
答 改正は、建築基準法施行令第123条に規定されている特別避難階段に関する規定の改正によるもので、改正前は特別避難階段の付室は、排煙窓または排煙設備を設置したものに限定されていたが、改正後はこれまでの仕様を限定した規定を改め、付室を介した階段室への煙の流入を防ぐ新たな排煙方式の設置も可能となった。
◇福生市学童クラブの設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
問 5年以上学童クラブ事業に従事した者であって、市長が適当と認めたと者とはどのようなケースがあるのか。
答 今回の改正で、例えば、中学校卒業者については、5年以上の勤務経歴と総勤務時間が5千時間程度あることを目安としている。
問 学童クラブ支援員の資格取得の方法と資格取得者の数は。
答 学童クラブの支援員

に対する専門資格の取得には16科目24時間の研修の受講が必要。社会福祉協議会は30名、特定非営利活動法人ワークスペースは9名が支援員の資格を取得している。
◇平成30年度福生市一般会計補正予算(第1号)
(市民厚生委員会所管分)

問 杉ノ子第二保育園建設費補助金の交付基準額引き上げの理由と内訳、建設費の定員の変化は。
答 建設資材や人件費等が高騰しており588万4千円の増額となる。定員は120名から130名に10名増員となる。



▲杉ノ子第二保育園(建替え前)

総務文教委員会

6月14日に委員会が開催され、4件の議案を審査し、原案のとおり可決。同意され、陳情は1件が継続審査となりました。
◇福生市税賦課徴収条例の一部を改正する条例

問 たばこ税の引き上げに、平成29年度の実績に基づき影響額は。

答 平成30年度の予算比で、平成31年度は2200万円の増、平成32年度は3890万円の増、平成33年度は7740万円の増。
問 資本金または出資金の額が1億円を超える法人等に対し電子申告を義務化するという規定の整備について、システムの改修などの準備は。
答 法人市民税の電子申告については、地方税ポータルシステムにおいて既に開始されているので特段準備の必要はない。
問 生産性向上特別措置法による減税に関し、その対象者となるか。
答 市が認定した中小企業者のうち資本金または出資額が1億円以下の法人が対象で、設備については商品の生産もしくは販売または役務の提供に供し生産性向上に資する指標が旧モデル比で年平均1%以上向上する設備。
問 個人住民税に関する改正で、給与所得控除や公的年金等控除を10万円カットして、個人市民税の基礎控除に上積みするが、市民への影響、市政への影響は。
答 給与所得者や公的年金等所得者については住民税の税額による影響はなく、そのほかの所得者については基礎控除の引き上げにより税額が下がり税収に影響が出る。

◇平成30年度福生市一般会計補正予算(第1号)
(総務文教委員会所管分)

問 学校マネジメント強化事業のスクール・サポート・スタッフの業務は。
答 実施計画書記載の内容のほか、授業で使用する教材の準備、後片付け、専科教室の教室整備の手伝い、提出物のチェック等といったことを想定。
問 プログラミング教育推進事業についてその講師は、またプログラミング的思考とは何か。
答 授業や家庭で個別学習用のドリルソフトを使用しているが講師はその開発企業からの招聘を考えている。また、プログラミング的思考とは自分の考えを実現するために何をどのように組み合わせるとよい結果が得られるのかなどについて論理的に考える力のこと。

◇福祉センター設備改良工事(機械設備)請負契約
問 この改修によってエネルギー効率等がどの程度向上するのか。
答 更新する機器全体で試算すると、光熱費の金額で約30%、CO2の排出量で約50%の削減効果を見込んでいる。
問 落札者の公共施設等に関する実績は。
答 近隣では瑞穂町で小学校の除湿温度保持機能復旧工事、他に文京区民センターで空調設備の

改修工事等の実績がある。

羽村第三中学校へのパラシュート落下について(要請)

平成30年4月17日に次の要請文を、在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官に送付し、また、本件について米軍に申し入れるよう、北関東防衛局長及び横田防衛事務所長に要請しました。(各々の要請文の全文を市議会ホームページに掲載しています)

《要請文》

平成30年4月10日17時頃、横田基地における人員降下訓練中にパラシュートの一部が羽村第三中学校に落下する事故が発生した。

そして4月11日、貴職は、当該事故の安全確保のための調査等を行った結果、4月12日からパラシュート降下訓練を再開すると発表し、同日より同訓練が再開された。

横田基地においては人員降下訓練が度々行われており、平成29年度においても基地運用の安全対策を徹底するよう要請している中において、基地外へのパラシュートの落下

は、一步間違えば人命に関わる重大な事故につながりかねず、また事故原因及び再発防止策の具体的な説明がないまま訓練が再開されたことは周辺住民の不安を増大させるものであり極めて遺憾である。

貴職においては、この状況を十分認識され、再発防止と安全確保の徹底を図ることはもちろん、基地に関する周辺住民の常なる不安を念頭に、真摯に説明及び運用責任を果たしていくことを強く要請する。

平成30年4月17日



▲設備改良工事が予定されている福祉センター

議会運営委員会

定例会の会期や本会議の議事日程、一般質問、議案、市民等から提出された陳情の取り扱い等の協議及び議会だよりの編集を行う議会運営委員会が閉会中も含め6回開催されました。

次回定例会のお知らせ

平成30年第3回定例会は、9月4日(火)から28日(金)までを予定しています。

- ◆本会議(予定) 午前10時開会 9月4日(火)～7日(金)及び28日(金)
- ◆決算審査特別委員会(予定) 午前9時30分開会 9月11日(火)～14日(金)
- ◆常任委員会(予定) 午前10時開会 9月19日(水)～21日(金)

◎議場には、補聴器をお使いの方のために、補聴器に直接音声を送る磁気ループを導入しています。

行政視察報告

特別委員会の先進地視察を報告します。

なお、視察報告書の本文を市議会ホームページに掲載しています。

まちの魅力づくり 対策特別委員会

視察目的 ①自転車による観光対策及び道の駅等の観光資源・拠点を活用した回遊ルートについて

②自転車を中心としたまちづくり及び古民家の活用について
視察先 ①滋賀県米原市
②滋賀県守山市
視察日 平成30年5月10日(木)～11日(金)

①米原市は、自転車による琵琶湖一周(ピワイチ)の起点の一つとして、米原駅構内市道の一角にサイ



▲滋賀県守山市を視察

イクルステーションをNPO法人の運営で、平成28年に開設。年間の自転車貸し出し台数は2千台以上となっている。また、サイクルラックを併設した「道の駅・伊吹の里」は、

特別委員会活動から：

まちの魅力づくり 対策特別委員会

成事業等が行われている。また、共存共栄を主眼に米軍と連絡協議会を設け相互の課題について協議を重ねている。

②主に米空軍第35戦闘航空団、米海軍三沢航空基地隊等が配備されており、市内上空ではF-16戦闘機の離着陸訓練等が頻りに行われている。



▲青森県三沢市を視察

横田基地対策 特別委員会

視察目的 主に①三沢市の基地対策②在日米軍三沢基地の状況③航空自衛隊三沢基地の状況④市及び市民への影響⑤市民との交流などについて。

視察先 ①青森県三沢市
②航空自衛隊三沢基地
視察日 平成30年5月8日(火)～9日(水)

①三沢市では、防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律に基づき、障害防止工事、個人住宅防音工事、移転補償及び集団移転先公共施設整備事業、民生安定施設の助

成事業等が行われている。また、共存共栄を主眼に米軍と連絡協議会を設け相互の課題について協議を重ねている。

③多摩川流域(沿い)の魅力づくりについては、サイクルカフェ、ステーションの設置場所として、多摩川沿い他、サイクリストの市内誘導の観点から、福生駅近くの設置

・片倉跡地の活用については、熊川分水の保全を前提とした公園やサイクルステーション併設の道の駅等の設置

④広域連携、動画配信、WiFi環境等については、駅前周辺や観光スポット周辺のWiFi環境の整備

次回「富士見通り」の最終提言案をまとめます。

横田基地対策 特別委員会

4月17日に臨時委員会を開催し4月10日に羽村市内で発生したパラシュートの一部落下について審査し、米軍等に対し再発防止等を文書により要請することを決定しました。(7面に要請文を掲載)

また、6月15日に委員会が開催され4件の議題について審査しました。主な内容は、次のとおりです。

1. 平成29年度防衛補助事業実施状況について

編集後記

この度の西日本を襲った記録的豪雨により、被災された方々には謹んでお悔やみとお見舞いを申し上げます。今回の災害では、特別警報による行動の在り方、またいつ、どこで、どのような災害も想定内とならなければならないことを改めて思い知らされました。

さて、議会運営委員会では、議会運営を円滑に行うために、その全般について必要な事項の協議・調整などを行っています。先に設置された「議会改革に関する特別委員会」で検討されていた「タブレット端末の導入について」、議会運営委員会でも引き続き検討を行っています。すでに導入をされている自治体の視察も行う予定で、理事者側からの資料の出し方、議会側での資料の閲覧・扱い方、費用対効果など、調査・研究を行い、導入に向けた検討を行っています。印刷された資料の良さもありますが、莫大な量の紙を必要とすることや、その資料を配布するまでの事務量などを考えれば、多くのメリットが考えられます。議員のスキルアップも必要となりますが、前向きな議論を重ねていきます。



▲横田基地有志による花いっぱい運動